

受 付 番 号	2025-11		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111401 号		
研究課題名	歯科大学生における well-being とライフスタイルおよび健康状態についての関連因子の検討		
研究責任者	永久 景那	申 請 者	永久 景那
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	口腔リハビリテーション科	所 属	口腔リハビリテーション科
職 名	講師	職 名	講師

申請の概要

選択の自由や多様性に溢れる昨今、各世代・各個人としての **well-being***が注目されている。世界幸福度調査では、日本人の幸福度は比較的低い傾向にあり、「幸福」の概念要素における「仕事・お金・健康・人間関係」での「安定・調和」等の影響が大きいとの報告もある。また、米国では、「人間関係」に含まれる食事時の人との交流（共食・孤食）は、若年者の健康に長期的に影響を及ぼす可能性、つまり、社会的孤立が、年齢を重ねた先での心身の健康に影響を及ぼす公衆衛生上の問題とされている。よって、本研究では、本学の学生を対象とし、食事環境等のライフスタイルや健康状態および **well-being** に関するアンケート調査を行うことにより、若年者の **well-being** に影響を与える因子の関連性について検討することを目的とする。本研究によって、歯科大学生における **well-being** とライフスタイルおよび健康状態についての関連性を明らかにすることができれば、歯科医療従事者として、患者や公衆に向けて、**well-being** の維持・啓発アプローチの一助となる可能性が期待される。

*本研究での **well-being** とは、個人にとって、より良く、幸せを感じることができる、「身体的な健康」「精神的な（心の）健康」「社会との繋がり」の 3 つの項目がバランスよく満たされた状態、と解釈する。